

## 会員業績集 (2011年~2013年)

会員業績は以下の要領でまとめた。

1. 業績は学会・研究会発表、論文発表、著書（分担執筆）の3種類に分けて集録した。
2. 集録の範囲
  - a. 学会発表は当協議会研修会での発表は除いた（研修会記録を参照のこと）。
  - b. 論文発表は当協議会会誌に発表のものは除外した（会誌総索引を参照のこと）。
  - c. 著書については、白書および年鑑の分担執筆のものはここに収録した。

### 発表

開催年月	演題および発表者名	学会名
2011.7	近畿病院図書室協議会（KHLA）のホームページについて 佐藤 道子（兵庫県立光風病院）	第28回医学情報サービス研究大会（大津）
	ピクトグラムとは — 病院図書館・患者図書館で役立つピクトグラムを考える — 寺澤 裕子（関西労災病院）、川野 真樹（京都第二赤十字病院）、高橋真由美（島根県立中央病院）、武田 昭子（刈谷豊田総合病院）、林 伴子（社会保険神戸中央病院）、松尾 知香（石切生喜病院）	第28回医学情報サービス研究大会（大津）
2012.8	パネルディスカッション 「医療情報と機関リポジトリ～現場からの声～」in「リポジトリで発信する医療情報—病院図書館との連携—」 増田 徹（パネリスト）（藍野大学中央図書館）	第29回医学情報サービス研究大会（築地）

### 論文

発行年	論題および執筆者名	雑誌名・巻(号)：ページ
2012	レファレンス事例集 事例 No. 59 情報の在り処：剖検データ調査 川野 真樹（京都第二赤十字病院）	医学図書館 59(2)：146-147
2012	レファレンス事例集 事例 No. 60 1800年代の資料相談 川野 真樹（京都第二赤十字病院）	医学図書館 59(2)：147-148

# 信頼される図書館員を目指して

この資格は、ヘルスサイエンス分野の図書館等の情報サービス機関での実務経験を持ち、保健・医療その他関連領域の情報の専門的知識及び技能と、関連する情報サービスの管理、調整能力を有している方を、NPO 法人日本医学図書館協会が認定するものです。

### 第27回申請（2017年1月）より認定審査の内容が大きく変わります。（以下、ウェブサイト掲載Q&Aより一部抜粋）

Q 基礎資格を申請する予定です。何が変わりますか？

A これまでの基礎資格申請の必須要件であった基礎研修会や研究会＋継続コースの修了に代わるものとして、2016年に始まるJMLAコア研修の修了が必須要件となります。また、倫理綱領に対する宣誓の署名が加わります。この2点以外はこれまでと変わりません。

#### 第26回

2016年7月1日～31日受付

#### 第27回

2017年1月1日～31日受付

#### 第28回

2017年7月1日～31日受付

#### 第29回

2018年1月1日～31日受付

第16～19回（2011年7月～2013年1月申請）で中級・上級を取得された方は、それぞれ更新の期限です。基礎から中級・上級へ、中級から上級へのステップアップ新規申請もぜひご検討ください。



福井次矢 NPO法人日本医学図書館協会会長・聖路加国際病院院長

エビデンスにもとづく医療、医学研究や医学教育など、保健・医療にかかわるあらゆる分野で、最新の医学情報の活用は欠かせません。的確に医学情報を収集・提供するパートナーとしての「ヘルスサイエンス情報専門員」の活躍を期待します。

### はじめて申請される方へ

- ・本協会会員以外の方も申請できます
- ・司書資格のない方はご相談ください
- ・協会指定の研修会への参加が必要です
- ・規定の実務経験が必要です
- ・基礎資格のみ申請できます
- ・基礎資格は永年有効です

NPO法人日本医学図書館協会中央事務局

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビル6

TEL:03-5577-4509 FAX:03-5577-4510 E-Mail:jmlajimu@sirius.ocn.ne.jp

<http://jmla.umin.jp/nintei/>